

急増中！知っていますか？

クビアカツヤカミキリ

特定外来
生物

侵入害虫

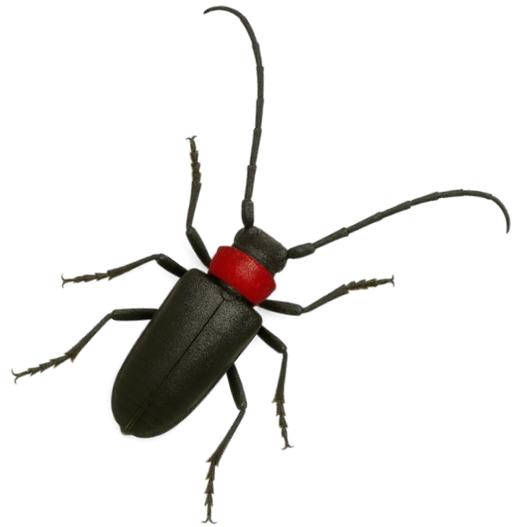
外来カミキリムシによる深刻な樹木被害が広がっています！

東アジア原産のクビアカツヤカミキリは、2012年に国内で初確認されました。関東や近畿地方を中心に分布を広げ、サクラ、ウメ、モモなどに大きな被害が出ています。



クビアカツヤカミキリとは？

- ・ 特徴 : 赤い胸部(クビ)と黒光りする羽
- ・ 成虫の体長 : 3~4cm
- ・ 加害植物 : サクラ・ウメ・モモ・スモモなど
- ・ 成虫発生時期: 5月末~8月



被害の内容

- ・ 幼虫が木の内部を食い荒らし、樹木が枯死
- ・ 果樹園での農業被害
- ・ 枝の落下や倒木によるけがのおそれ

被害のサイン

- ・ 木の根元にうどん状のフラス
※フラス…木くずや糞が混ざったもの
- ・ 幹や枝に 小さな丸い穴(直径約1cm)
- ・ 大量の樹液漏れ
- ・ 木の部分枯れ



被害樹木から出たフラス



大量に出た樹液



うどん状のフラス
(提供:兵庫県)

被害が拡大すると・・・

⚠ 十分に果実が収穫できず、追加の防除対策が必要となってしまいます。

★ 農業被害

- ・ 樹の衰弱、被害樹の伐採による収穫量の減少

🛡 防除対策

- ・ 農薬散布 (成虫の活動時期の5月末～8月に数回)
- ・ 樹の中にいる幼虫の駆除 (刺殺や掘り取り)
- ・ 樹幹へのネット巻き (産卵防止や成虫の飛散防止)



伐採した被害樹の断面



薬剤の散布



ネット巻き

ほかの農作業で忙しいのに…
暑い時期に大変だあ…



💡 被害拡大防止に向けてできること

✅ 園地の見回り

- ・ 成虫はいないか
- ・ フラスはないか
- ・ 大量の樹液漏れはないか
- ・ 樹は弱っていないか、部分枯れしていないか



未発生地の
場合

✅ 自治体などへ通報

- ・ 被害のサイン、成虫を発見したら通報を
- ・ より正確な情報のため、写真撮影も○



✅ 捕獲して駆除 (踏みつぶすなど)

- ・ 生きたままにしない
- ・ 繁殖を防ぐため速やかに駆除を

✅ 飼育しない、生きたまま持ち運ばない

● 特定外来生物の取り扱いは外来生物法で厳しく制限されています。

(クビアカツヤカミキリは2018年に特定外来生物に指定)



🔍 詳しくは以下のサイトをご覧ください

★ 農林水産省

クビアカツヤカミキリに関する情報

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/kubiaka/kubiaka.html

★ 環境省

クビアカツヤカミキリの関連情報のリンク集

https://www.env.go.jp/nature/gairai/info_kubiaka.html



園地を守るため、
大変だけど、みんな
で頑張りましょう！

作成：中国四国農政局
消費・安全部 農産安全管理課

中国四国農政局
クビアカツヤカミキリHP

